

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公表番号】特表2003-516457(P2003-516457A)

【公表日】平成15年5月13日(2003.5.13)

【出願番号】特願2001-543653(P2001-543653)

【国際特許分類】

C 08 L	77/00	(2006.01)
C 08 J	3/20	(2006.01)
C 08 J	5/00	(2006.01)
C 08 K	3/00	(2006.01)
C 08 K	5/00	(2006.01)
C 08 K	5/09	(2006.01)
C 08 K	5/092	(2006.01)
C 08 L	9/06	(2006.01)
C 08 L	23/20	(2006.01)
C 08 L	53/02	(2006.01)
C 08 L	71/12	(2006.01)
C 08 L	83/04	(2006.01)
C 08 L	101/00	(2006.01)

【F I】

C 08 L	77/00	
C 08 J	3/20	Z
C 08 J	5/00	C F G
C 08 K	3/00	
C 08 K	5/00	
C 08 K	5/09	
C 08 K	5/092	
C 08 L	9/06	
C 08 L	23/20	
C 08 L	53/02	
C 08 L	71/12	
C 08 L	83/04	
C 08 L	101/00	

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 下記の成分及びその任意の反応生成物を含んでなる組成物。

- (A) 1以上のポリアミドを含んでなる連続相、
- (B) 1以上のポリ(フェニレンエーテル)樹脂、
- (C) 1以上の耐衝撃性改良用ポリマー、
- (D) ポリ(フェニレンエーテル)及びポリアミドと反応可能な2以上の官能基を含む非ポリマー状官能化用化合物、並びに

(F) 当該組成物の物理的特性又は表面外観を改善するのに有効な少量の、ビニル基を約0.25モル%含むポリ(ジメチルシロキサン)ガムから実質的になるオルガノシロキサン混合物。

【請求項2】 前記1以上のポリアミドがポリアミド-66又はポリアミド-6である、請求項1記載の組成物。

【請求項3】 前記1以上のポリアミドがポリアミド-66とポリアミド-6の混合物である、請求項1記載の組成物。

【請求項4】 前記ポリ(フェニレンエーテル)が、ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニレンエーテル)又はポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニレンエーテル-コ-2,3,6-トリメチル-1,4-フェニレンエーテル)の1以上である、請求項1記載の組成物。

【請求項5】 前記耐衝撃性改良用ポリマーが、スチレン-ブタジエン共重合体、水素化スチレン-ブタジエン共重合体、スチレン-ブタジエン-スチレン共重合体、水素化スチレン-ブタジエン-スチレン共重合体、スチレン-イソブレン共重合体、水素化スチレン-イソブレン共重合体、スチレン-イソブレン-スチレン共重合体及び水素化スチレン-イソブレン-スチレン共重合体から成る群から選択される1以上の成分である、請求項1記載の組成物。

【請求項6】 前記非ポリマー状官能化用化合物が、クエン酸、無水マレイン酸及びフマル酸から成る群から選択される1以上の成分である、請求項1記載の組成物。

【請求項7】 下記の成分及びその任意の反応生成物を含んでなる組成物。

(A) 1以上のポリアミド-66樹脂を含んでなる連続相、

(B) 1以上のポリ(フェニレンエーテル)樹脂を当該組成物の全量の20~60重量%で含んでなる分散相、

(C) スチレン-ブタジエン共重合体、水素化スチレン-ブタジエン共重合体、スチレン-ブタジエン-スチレン共重合体及び水素化スチレン-ブタジエン-スチレン共重合体から成る群から選択される1以上の耐衝撃性改良用ポリマーを当該組成物の全量の1~15重量%、

(D) クエン酸を成分A、B及びCの合計100部当たり0.1~2.0部、並びに

(F) ビニル基を約0.25モル%含むポリ(ジメチルシロキサン)ガムを前記耐衝撃性改良用ポリマー(C)の1~15重量%。

【請求項8】 請求項1記載の組成物から製造される物品。

【請求項9】 自動車の内装品、外装品又はアンダーフード部品である請求項8記載の物品。

【請求項10】 下記の成分及びその任意の反応生成物：

(A) 1以上のポリアミドを含んでなる連続相、

(B) 1以上のポリ(フェニレンエーテル)樹脂、

(C) 1以上の耐衝撃性改良用ポリマー、

(D) ポリ(フェニレンエーテル)及びポリアミドと反応可能な2以上の官能基を含む非ポリマー状官能化用化合物、並びに

(F) 当該組成物の物理的特性又は表面外観を改善するのに有効な少量の、ビニル基を約0.25モル%含むポリ(ジメチルシロキサン)ガムを含んでなる組成物の製造方法であって、当該製造方法は押出し加工を混合物に施す工程を備えており、該押出し加工において、前記ポリ(ジメチルシロキサン)ガムを前記樹脂成分の1以上の少なくとも一部と共に初期供給口の下流に位置する供給口へ供給する、製造方法。

【請求項11】 下流で供給される前記樹脂成分の少なくとも一部が1以上のポリアミド樹脂を含んでなる、請求項10記載の製造方法。

【請求項12】 下記の成分及びその任意の反応生成物：

(A) 1以上のポリアミドを含んでなる連続相、

(B) 1以上のポリ(フェニレンエーテル)樹脂、

(C) 1以上の耐衝撃性改良用ポリマー、

(D) ポリ(フェニレンエーテル)及びポリアミドと反応可能な2以上の官能基を含む非ポリマー状官能化用化合物、並びに

(F) 当該組成物の物理的特性又は表面外観を改善するのに有効な少量の、ビニル基を約0.25モル%含むポリ(ジメチルシロキサン)ガム

を含んでなる組成物の製造方法であって、当該製造方法は押出し加工を混合物に施す工程を備えており、該押出し加工において、前記ポリ(ジメチルシロキサン)ガムを他のブレンド成分と共に初期供給口へ供給され、前記樹脂成分の1以上の少なくとも一部が前記初期供給口の下流に位置する供給口へ供給される、製造方法。

【請求項13】 下流で供給される前記樹脂成分の少なくとも一部が1以上のポリアミド樹脂を含んでなる、請求項12記載の製造方法。

【請求項14】 下記の成分及びその任意の反応生成物：

(A) 1以上のポリアミド-66樹脂を含んでなる連続相、

(B) 1以上のポリ(フェニレンエーテル)樹脂を当該組成物の全量の20~60重量%で含んでなる分散相、

(C) スチレン-ブタジエン共重合体、水素化スチレン-ブタジエン共重合体、スチレン-ブタジエン-スチレン共重合体及び水素化スチレン-ブタジエン-スチレン共重合体から成る群から選択される1以上の耐衝撃性改良用ポリマーを組成物の全量の1~15重量%、

(D) クエン酸を成分A、B及びCの合計100部当たり0.1~2.0部、並びに

(F) ビニル基を約0.25モル%含むポリ(ジメチルシロキサン)ガムを前記耐衝撃性改良用ポリマー(C)の1~15重量%、

を含んでなる組成物の製造方法であって、当該製造方法は押出し加工を混合物に施す工程を備えており、該押出し加工において、前記ポリ(ジメチルシロキサン)ガムを前記ポリアミドの一部と共に初期供給口の下流に位置する供給口へ供給される、製造方法。

【請求項15】 下記の成分：

(A) 1以上のポリアミド-66を含んでなる連続相、

(B) 1以上のポリ(フェニレンエーテル)樹脂を当該組成物の全量の20~60重量%で含んでなる分散相、

(C) スチレン-ブタジエン共重合体、水素化スチレン-ブタジエン共重合体、スチレン-ブタジエン-スチレン共重合体及び水素化スチレン-ブタジエン-スチレン共重合体から成る群から選択される1以上の耐衝撃性改良用ポリマーを当該組成物の全量の1~15重量%、並びに

(D) クエン酸を成分A、B及びCの合計100部当たり0.1~2.0部、

を含んでなる組成物の低温衝撃強さを高める方法であって、当該方法が、前記組成物にビニル基を約0.25モル%含むポリ(ジメチルシロキサン)ガムを前記耐衝撃性改良用ポリマー(C)の1~15重量%添加する工程を備える方法。

【請求項16】 前記1以上のポリアミドが、アミン末端基濃度の異なるポリアミド-66樹脂の混合物である、請求項1記載の組成物。